



この学部でしか学べないことがある

# 神道文化学部

神職子女向け  
入学案内







## フレックスA(夜間主)は経済的負担も少なく、人の輪も広がります



内海 磨弥さん

平成30年度卒業(第127期) 奉職内定



私が國學院大學に入学したのは、古事記とのご縁の賜物です。「もっと古事記を学びたい、神々ゆかりの「神社と祭り」に接したい…」そんな思いで、本学への進学を決意したのです。受験の際は、昼間主・夜間主「どちらでも」を選択し、夜間主に入学することとなりました。



4年後の今、夜間主で学ぶことができ、本当によかったと感じています。厳しい経済情勢の折柄、フレックス奨学金の支給は、学生生活のこの上ない支えとなりました。また夜間主のクラスは、人数がほどほどで、どこか家族のような雰囲気があります。そこでは、少なからぬ社会人も学んでいます。様々な環境に身を置く方々から、多くのことを学ぶことができました。



そんな学生生活で最も思い出深かったこと。それは、本学ならではの年中行事です。1年次は、成人加冠式で、奉祝舞の舞人として御奉仕いたしました。2年次では、その成人加冠式で、新成人として加冠を受けることが叶いました。同じく2年次の秋、第7回目の観月祭で、豊栄舞の舞人としてご奉仕させていただきました。半年間のハードなお稽古の甲斐あって、当日本番は、多くの方々に見守られながら、無事に舞い終えることが出来ました。必ずや観月祭の神さまのお導きがあったものと信じています。



社家ではない一般家庭出身の私にとって、祭式や神社の実務等々は、まさに未知の世界でした。けれども学部では、祭式作法は勿論のこと、祭祀舞や雅楽、衣紋や御幣作りなど、神職必須の技能を習得する環境がしっかりと整えられています。入学時、文字通りゼロからスタートした私でしたが、先般、おかげさまで由緒あるお宮から奉職内定をいただくことができました。卒業後は、学部で学んだ「こころ」と「わざ」を活かし、精一杯ご奉仕して参りたいと願っております。





## 旭 敦紀さん

平成30年度卒業(第127期) 奉職内定

神道文化学部入学に際しては、経済的なことを考え、「フレックス奨学金制度」と「神社実習生制度」のあるフレックスA(夜間主)を選びました。入学後、ただちに神社実習生として神社にご奉仕する運びとなりました。おかげさまで「食住」の環境を整えていただいた上、学費を神社のお手当と大学のフレックス奨学金で補うことができました。

実習生制度は、神道文化学部ならではの学生生活の仕組みだと思います。神社界には、実習生出身の神職がたくさんいらっしゃいます。経済的な心配を抱える志願者の皆さんは、ぜひこの制度を活用して、4年間の学びに勤しんでもらいたいと思います。実習生を終えたのちは、神社での助勤と共に、衣紋道サークルで活動に勤しみました。ご奉仕に備え、装束の扱いを実地に経験することができました。先輩方の御指導に心より感謝申し上げます。

本年は、御代替わりの年です。新しい時代に際して、神道は「日本人の心の拠り所」として一層大切な役割を果たさなければなりません。私たちは、そのためにこそ、神道文化学部で学んで参りました。微力ながら、学部出身者としての使命を胸に刻み、まごころを籠めて神事に勤しんで参りたいと願っております。

## フレックスA(夜間主)での学びと実習



### 國學院大學の奨学金制度

1年次は  
全員支給

神道・宗教  
特別選考新入生対象

返済不要

**神職子女奨学金** … [1年次生] 自宅外通学者40万円 / 自宅通学者20万円支給(全員)  
… [2年次以上] 自宅外・自宅通学者ともに10万円支給(学業成績の上位20名以内)

詳しくは本学ホームページ「入試情報に関するお知らせ」でご案内します。 <http://www.kokugakuin.ac.jp/admission/nyugaku0300166.html>

夜間主学生対象

返済不要

國學院大學フレックス特別給付奨学金……400,000円

神社界からの奨学金

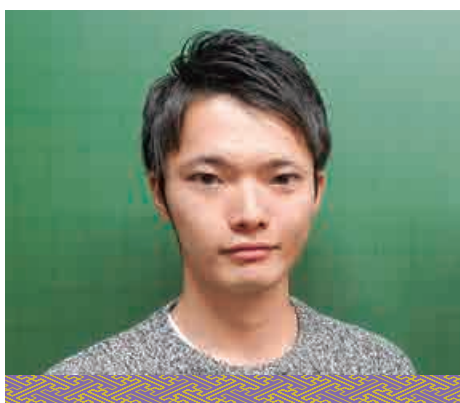
神社本庁育英奨学金……30万円支給(2年生以上) 返済不要 ※条件あり

伏見稲荷大社奨学金……24万円支給 返済不要

全国敬神婦人連合会育英奨学金……15万円支給(女子学生のみ、2年生以上) 返済不要



## 神道文化学部生であることが、就職活動の強みになりました



二宮 崇人さん

平成30年度卒業(第127期)  
東京トヨタ自動車株式会社内定

私は北陸の社家出身です。幼い頃から祖父や父の手伝いをしてきました。いつか自分も神職になって、神社を繋いでいきたいと思うようになりました。大学進学に際しては、迷うことなく神道文化学部への進学を決めました。

入学後は、東京ではじめての1人暮らしです。最初の頃は不安にかられることもありましたが、神道文化学部には私と同じ社家出身者が、全国各地から入学しています。すぐに打ち解けることができました。様々な地域の出身者と仲良くなりました。全国横断的な「横のつながり」が生まれることが、わが学部の大きなメリットだと思っています。

最も実になった経験は、2年次の夏休みから始まった神社実習です。それは、普段の生活では到底味わえない特別な体験でした。神職としての心構えはもちろん、社会人としてのマナーや言葉遣いも、しっかりと学ぶことができました。

いよいよ4年次。神社への奉職ではなく、一般企業への奉職を目指しました。実家の神社は、代々兼業で御奉仕を続けてきました。私は、神社を継ぐに先立って、なお首都圏で社会人経験を積みたいと考え、就職活動にチャレンジしたのです。

当初は、こんな心配を抱いていました。「神道文化学部の学生ということが、一般就職のネックになってしまうのではないだろうか…」。

しかしながら、実際の就職試験では、面接官の方々が、神道文化学部に対して、とても興味を持ってくださいました。「珍しい学部だけど、どんなことを学ぶの?」「授業って何をするの?」志望動機説明・自己PRが終わると、必ずと言っていいほど学部のことを聞かれました。神道文化学部では、夏の神社実習、神社での勤動など、他学部の人にはない経験が積めます。面接では、そうした経験が、宝物のようなトピックになりました。他学部の人とは異なり、学部生ならではの体験談を話すことができました。

おかげさまで、目標だった憧れの企業から、内定をいただくことができました。内定先は、人に寄り添うこと、人の暮らしに役立つことをポリシーとする企業です。

神道文化学部で学んだ4年間があったからこそその内定獲得だったと実感しています。

神道の学びで身に体した数々の事柄を、お客様方や氏子の方々のために活かしていけるよう、日々精進していきたいと願っております。





## 才市 歩花さん

平成30年度卒業(第127期) 奉職内定



祖父が神職としてご奉仕しております。その姿を、子供の頃から見て育ちました。大学進学に際して、こう考えました。「将来はぜひ地元の神社でご奉仕したい、そのためにもぜひ神道を学びたい…」そんな思いから、國學院大學の神道文化学部への進学を決意したのです。

入学当初は、祭式も出来ず、装束の着方すらわからないような状態でした。けれども4年間の学びで、神道の何たるか、神職の務めの何たるかを、自分なりに会得することができたのではないかと考えています。



それだけではありません。学部の多様な科目の数々によって、神道以外の「世界の宗教や文化」について、幅広く学ぶことが出来ました。

入学前に比べて、自分の視野が、大きく広がったような気がしています。

4年次はいよいよ奉職。神道研修事務課の方が、親身になって相談に乗っていただきました。



先般、おかげさまで首都圏の神社からの奉職内定をいただくことができました。皆様方のご配慮に、心から感謝しております。

ゆくゆくは実家でご奉仕しているお宮に戻ることになります。自分の目標は「地域の方々に寄り添う神職」です。女性神職として、自分にできることを探しながら、日々のご奉仕に勤めたいと願っております。

## 女性神職を目指して





## 目標達成を目指した4年間



上坂 宜嗣さん

平成30年度卒業(第127期) 奉職内定

私は、小さいころから日本の歴史や文化に興味がありました。とりわけ神道の世界に一方ならぬ親しみを感じていたのです。

大学進学に際しては、様々な大学や学部をリサーチしました。けれども、自分が求めているカリキュラムや各種講座を備えているのは、やはり神道文学部以外ありませんでした。

入学後は、神道の歴史や祭作法などは勿論のこと、学芸員の資格課程履修など、自分なりの目標に向けて積極的に取り組みました。

また御幣講座や衣紋講座なども受講し、奉職後必要なスキルを身に付けることも心掛けました。とりわけ2年次からの実習では、神社の御社頭で、様々な経験を積むことができたと思います。

いよいよ4年次。私は入学当初から奉職を目指していました。奉職活動中は、精神的につらいことも多々ありました。けれども、学部には同じ目標を持つ仲間たちがたくさんいます。そうした仲間たちと、将来への思いを交々に語り合いました。仲間たちとの切磋琢磨は、奉職活動のモチベーションを、一層高めてくれたと思います。さらに神社での実習やお正月の助勤などを通して、神職として奉職するという目的意識を、さらに研ぎ澄ますことが出来ました。

神道文化学部での4年間は、自分の将来に向けて、大切な基礎を築く時期になりました。思えば、本当に有意義な学生生活を過ごすことができたと思います。

在学中に得たこと、自分なりに考えたことを決して忘れることなく、神社界に貢献できるよう頑張っていきたいと願っております。





## 大須賀 千晶さん

平成30年度卒業(第127期) 奉職内定



私は東海地方の社家の出身です。幼い頃から父の奉仕する姿を見ながら育ってきました。「将来は神職としてご奉仕したい…」そう考えるようになったのです。そんな私にとって、本学の神道文化学部は、理想的な環境でした。



学部の授業は、すべてその分野のエキスパートの先生方が担当されます。自己流ではない自らの学びの基礎を、しっかりと築くことができました。

また学部には全国の神社から神職子弟が集まります。お互いの切磋琢磨は勿論のこと、様々な情報交換も活発に行われていました。共に学び、実習では寝食も共にする中から、かけがえのない友人達にも恵まれました。入学前、まさに自分が望んでいたような環境で、勉学に勤しむことができたと思います。



いよいよ4年次。

自らの進路を考える際には、大学が開催する数多くのセミナーや相談会がとても有益でした。確かな情報を得た上で、自分の行く先を見据えることができたのです。とりわけ神道研修事務課の皆様の手厚いご支援には、お礼の言葉もございません。

おかげさまで関西の由緒ある神社から奉職内定をいただくことができました。ゆくゆくは実家の神社に戻ってご奉仕することになります。そのための大切な糧となるような、充実した学びの日々を過ごすことができました。この学部ならではの、貴重な体験の数々…。

これからの人生において、ぜひとも活かしていきたいと願っております。

## 充実した学びの日々





## 経済的な負担を減らしながら神社で経験を積んでいます



所 雅人さん

フレックスA(夜間主) 神道文化学部2年(取材時)

私の実家は神社です。ゆくゆくは神職として父のあとを継ごうと思っていました。そんな中、神道文化学部のホームページ等を通じて、神社実習生制度のことを知ったのです。経済的負担を減らしながら神社で経験を積むことができるという点に魅かれ、入学前から実習生になることを決めていました。

実習先は、墨田区の白鬚神社です。宮司さまの懇切なご指導のもと、境内の清掃から祭典に関わることまで、実に幅広い経験を積ませていただいております。とりわけ学部の祭式の授業では、実習生として身につけた知識や作法を活かし、常に自信を持って臨んでいます。昼はお宮でご奉仕、夜は大学で学修という忙しい毎日ですが、環境を共にする実習生の友人たちと励まし合い、時に楽しく語り合いながら、いつも充実した日々を過ごしております。

## 2019年度 推薦・特別選考、専攻科、別科入試日程

入試制度	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表	入学手続期間(消印有効)
神道・宗教特別選考(Ⅰ期) 【神社本庁包括下の神社】及び【神道系教団】の後継者を対象とした入試です。	9/18(水)～9/25(水)	1次：書類選考 2次：10/20(日)	1次：10/9(水) 2次：11/1(金)	11/2(土)～11/12(火)
神職養成機関(普通課程)特別選考	9/18(水)～9/25(水)	10/20(日)	11/1(金)	11/2(土)～11/12(火)
公募型自己推薦(AO型) 【神道文化学部でぜひとも神道文化・宗教文化を学びたい】という強い意欲を抱く志願者を選抜します。	9/25(水)～10/2(水)	1次：書類選考 2次：11/10(日)	1次：10/18(金) 2次：11/20(水)	11/21(木)～11/28(木)
神道学専攻科 4年生大学を卒業した神職子女が、1年間で神職資格(明階検定合格、正階授与)取得を目指す課程です。	10/7(月)～10/11(金)	11/24(日)	12/4(水)	12/5(木)～12/12(木)
神道・宗教特別選考(Ⅱ期)[夜間主] 【神社本庁包括下の神社】及び【神道系教団】の後継者を対象とした入試です。	2/4(火)～2/10(月)	1次：書類選考 2次：2/26(水)	1次：2/20(木) 2次：3/5(木)	3/6(金)～3/11(水)
別科神道専修Ⅰ類・Ⅱ類 高等学校の卒業者が、神職資格を目指す課程です。	2/4(火)～2/10(月)	2/26(水)	3/5(木)	3/6(金)～3/11(水)

※出願資格など詳しい入試の情報については、國學院大学ホームページをご覧になるか、本学入学課(電話03-5466-0141)へお問い合わせください。志願される方は早めに「入学試験要項」をご請求ください。

### 説明会

#### 神道・宗教特別選考を志望する方々へ——入試説明会のお知らせ

本学では、(1)神社本庁所属神社の神職、またその家計の子女で、継承者となる方々もしくは、(2)神道系教団体の子女で、将来、後継者となる方々を対象にして、「神道・宗教別選考」という入試制度を設けています。この入試に関する説明会を、渋谷キャンパスのオープンキャンパスで実施します。日程は、右記のとおりです。「神道・宗教特別選考」を希望される方は、ぜひご参加ください。

6/2(日)、8/4(日)、  
8/24(土)